

第106回日本選手権・第38回U20日本選手権(2022/大阪)

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2022年度日本陸上競技連盟規則・競技会における広告及び展示物に関する規程、WA規則
TR5：シューズに関するルール再改訂部分及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

- (1) 各自、大会前1週間の体調管理をすること。なお、体調チェックシートの提出及び報告は不要。
- (2) 補助競技場正面玄関付近で、非接触での検温を実施する。競技者及びコーチなどチーム関係者は毎日補助競技場正面玄関で検温を受けること。
- (3) 当日検温で37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。
- (4) 休憩待機所、練習場・招集等については競技役員の指示に従い、フィジカルディスタンスを確保すること。
- (5) 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
- (6) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（日本陸上競技連盟）に報告すること。

3 招集について

- (1) 招集所はメイン競技場南側のマラソンゲート付近に設ける。
- (2) 種目別の招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピン・競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類の商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識（2枚）を受け取る。
 - ② 携帯電話等、競技規則TR6.3.2に関わる機器を持ち込んでないか確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終点呼は認めない。2種目同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、TICに用意した「多種目同時出場届」に記入し、1種目目の招集時に招集所へ提出する。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものと見なされ出場できない。

4 アスリートビブスについて

- (1) 競技者受付を補助競技場正面玄関付近に設ける。
- (2) アスリートビブスは3枚配布する。（胸・背・手荷物用）
- (3) アスリートビブスとADカード・プログラムの配布については、次の時間帯に、競技者受付で行う。

・6月8日（水）	13:00～16:30	・6月9日（木）	9:00～17:00
・6月10日（金）	9:15～17:00	・6月11日（土）	7:50～16:00
・6月12日（日）	8:00～15:00		

5 競技場内への入場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンとPECR（ポスト・イベント・コントロール・ルーム）を通り退場する。なお、決勝において1～3位の競技者を、入賞者控室に誘導する。

6 競技の抽選、及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。決定されたレーン順・試技順は、前日 17 時まで日本陸連公式 WEB サイトの日本選手権大会ページに掲載する。
- (2) シニアの日本選手権は欠場届を反映し、1 日目は大会前々日、2 日目以降は大会前日に番組編成を行う。
- (3) U20 日本選手権の番組編成は 1 週間前に行い、WEB に掲載する。スタートリスト公開後に欠場届が提出されてもレーンの調整は行わない。
- (4) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ、及びそのレーン順は日本陸連公式 WEB サイトの日本選手権大会ページに掲載する。
- (5) タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が 0.001 秒単位の時間を判定して競技者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。

7 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ② 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走る。
- (2) フィールド競技について
 - ① すべて光波距離計測器を使用する。
 - ② 跳躍、及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が準備したもの、または承認したマーカーを 2 個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを 1 つだけサークルの外側に使用することができる。
 - ③ 棒高跳の競技者は「棒高跳支柱移動届」を TIC で受け取り、自分の希望する支柱の位置を記入し、招集開始時に招集所に提出する。その後、位置を変更したい場合は担当競技役員に申し出る。
 - ④ 三段跳の踏切板は、砂場から男子 13m、女子 11m の地点に設置する。
 - ⑤ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ⑥ フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。
- (3) 男子 U20 については下記の規格で競技を行う。下記以外は一般規格で競技を行う。
 - ・男子 110mH ハードルの高さ 0.991m
 - ・男子砲丸投 6.000kg
 - ・男子円盤投 1.750kg
 - ・ハンマー投 6.000kg
- (4) 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。また、競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。
- (5) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない（競技規則 TR25.19）。
- (6) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。
- (7) 欠場する競技者は、本選手権大会規定の「欠場届」（TIC にも用意）に必要な事項を記入し、次の要領で届けること。届けずに欠場した者は、その後の本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない処置を講ずることがある
 - ① 大会第 1 日目【6 月 9 日（木）】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、6 月 7 日（火）の

- 12時までに、下記の届け出先までFAXで届け出る。
- ② 大会第2日目【6月10日(金)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、6月9日(木)の12時までに、下記の届け出先までFAXで届け出る。
 - ③ 大会第3日目【6月11日(土)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、6月10日(金)の12時までに、下記の届け出先までFAXで届け出る。
 - ④ 大会第4日目【6月12日(日)】に出場種目がある競技者が欠場する場合は、6月11日(土)の12時までに、下記の届け出先までFAXで届け出る。

《届け出先》

- ・大会2日前6月7日(火)まではosaka2022ketsujo@jaaf.or.jpへメールで提出すること。
- ・大会前日6月8日(水)は補助競技場の競技者受付もしくは大阪陸上競技協会へFAX(06-6697-8766)で提出すること。
- ・大会当日6月9日(木)以降はメイン競技場南側のマラソングート付近のTICもしくは、大阪陸上競技協会へFAX(06-6697-8766)で提出すること。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。(ただし、天候等の状況により変更することもある。)

▼シニア日本選手権

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m15	2m20	2m25	2m30	2m33	2m36	2m38	2cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m73	1m76	1m78	1m80	1m82	1m84	1m86	2cm
種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
棒高跳	男子	任意の高さ	5m10	5m30	5m40	5m50	5m60	5m70	5m80	5m85	5m90	5cm
	女子	任意の高さ	3m60	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m25	4m30	4m35	5cm

▼U20日本選手権

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
走高跳	男子	1m90 2m05	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11	2m14	2m16	2m18	2m20	2cm
	女子	1m55 1m70	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	1m80	1m82	1m84	2cm
種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
棒高跳	男子	任意の高さ	4m80	4m90	5m00	5m10	5m20	5m25	5m30	5m35	5m40	5cm
	女子	任意の高さ	3m50	3m60	3m70	3m80	3m85	3m90	3m95	4m00	4m05	5cm

(2) 棒高跳の公式練習について

- ① 棒高跳に出場する競技者は、招集完了時刻以前には競技場所には入場できない。
- ② 公式練習はゴムバーで行う
- ③ 任意の高さ、及び棒高跳支柱の位置で試技順に2回行う。

9 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具リストに複数本ないもの（日本陸上競技連盟検定品に限る）は、持ち込みを一人2つまで認めるので、希望者は各招集完了時刻の120分前までに、持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」をTICに持参すること。受け付けた「投てき用具」については「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし、すべての競技者が使用できなければならない。投てき用具は競技終了後にTICで「預かり証」を確認のうえ返却する。

10 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは、9mm以内。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 競技用靴についてはWAの新規定が適用される。 靴底の厚さは、800m未満の種目は20mm、800m以上の種目は25mmまでとする。
- (3) 詳細については別紙記載する。

11 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は大型スクリーンおよびアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR7 に定められている時間内(同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内)に、競技者自身または代理人が、TICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で申し出る。

12 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位までの競技者の表彰は、正面スタンド前の表彰台で行う。
- (2) 表彰はジャージもしくはTシャツで行う。
- (3) 各種目の1位の競技者には、賞状とメダルとカップ(U20は賞状とメダル)を、2位・3位の競技者には賞状とメダルを授与する。4位から8位の競技者には賞状を授与する。
- (4) 4位から8位までに入賞した競技者にはTICで賞状を渡す。
- (5) シニア日本選手権の最優秀選手男女各1名を表彰する。

13 ドーピングコントロールテストについて

大会要項記載の内容を確認のこと。

14 競技場で着用できる衣類と持ち込める物品について

競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の様になっている。事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。

アスリートキット

- (1) 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

○上衣 下衣 [それぞれ] *スポンサー名/ロゴは上下全く同じものでなければならない。

- ・製造会社名/ロゴ： 一箇所 40 cm²まで (高さ5cm)
- ・スポンサー名/ロゴ： 一箇所 40 cm²まで (高さ5cm)
- ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ：
上衣 前後 各一箇所 *長さは問わないが、高さは 前：5cm、後：4cm まで
下衣 一箇所 *長さは問わないが、高さは 5cm まで
*学校名/ロゴに関しては、上衣・下衣 大きさの規制なし

(2) 競技者が着用するあらゆるその他のアパレル (靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc)

- ・製造会社名/ロゴ： (一つに) 一箇所 6 cm² (高さ3cm) まで
- ・所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ： 一箇所 6 cm² まで
- *学校名/ロゴに関しては、上衣・下衣 大きさの規制なし

個人の所有物およびアクセサリー

(1) タオル バッグ

- ・製造会社名/ロゴ： 一箇所 40 cm² (高さ5cm) まで
- ・スポンサー名/ロゴ または 競技者名/個人者ハッシュタグ： 二箇所 40 cm² (高さ5cm) まで
- *バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち一箇所を以下に変更できる
所属団体名/ロゴ または 学校名/ロゴ： 一箇所
[所属団体名/ロゴ] 長さは問わないが高さは5cm まで
[学校名/ロゴ] 大きさの規制なし

(2) 飲料ボトル

- ・ドリンクの提供者 または 製造会社 または アスリートスポンサー名/ロゴ： 二箇所 40 cm² (高さ5cm) まで
- *ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

15 一般注意事項

- (1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (2) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 競技者控所/休憩場所はメイン競技場バックスタンドコンコース及び、補助競技場を利用すること。補助競技場において、シニア日本選手権出場チームはメインスタンド下1階の競技者控所(100m スタート側)を利用すること。U20 日本選手権出場チームは2階スタンド裏コンコースを利用すること。メイン競技場バックスタンドコンコースへも6月9日(木)~12日(日)に入ることができ、補助競技場の開場時刻に合わせてメインの競技者控所も開場する。
- (4) メイン競技場バックスタンド下の雨天練習場は練習時のみ使用すること。チーム陣地を雨天練習場に常設することは認めない。
- (5) 更衣室は補助競技場に設けるのでそちらを利用すること。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
- (6) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (7) 届けられた遺失物についてはTICで保管する。保管期間は競技会終了までとする。それ以降は日本陸上競技連盟事務局に連絡すること。
- (8) 記録は日本陸連公式WEBサイトの日本選手権大会ページに掲載する。
- (9) 「記録証明書」を希望する競技者は、TICに500円を添えて申し込むこと。
- (10) スタンドを含む競技場内での横断幕・応援用のぼり・旗等の固定は禁止する。また、応援において、まわりの観客の皆様へ応援グッズを配布することを禁止する。応援グッズに所属企業名(スポ

ンサー名)の露出をすることを禁止する。(ただし、本大会スポンサーはその限りではない)

- (11) 送付された棒高跳用ポールの受け渡しは、TICで指示する。また、本連盟申込の棒高跳用ポールの配送料は、TICで支払うこと。
- (12) 競技者及びチームスタッフには、受付時に大会主催者申し合わせ事項により、ADカードが渡される。コーチADカードについては、参加者1名は2枚、2名から3名は3枚、4名から5名は4枚、6名から9名は5枚とし、以後参加者が5名増えるごとに1枚追加して配布する。選手コーチADカードで、メイン側観客席エリアで観戦することはできない。ADカード使用者は、場内を移動する場合は必ずADカードが確認できるよう携帯する。
- (13) 提出書類は、次の通りとする。(用紙はTICに用意)

	提出するもの	提出場所	提出時刻
1	欠場届	T I C	招集完了時刻まで
2	多種目同時出場届	招集所	1種目目の招集時
3	投てき用具検査申請書	T I C	招集完了2時間前まで
4	棒高跳支柱移動申告用紙	招集所	招集時
5	上訴申立書(預託金1万円)	T I C	競技規則TR8による
6	記録証明書	T I C	TIC閉鎖時刻まで

- (14) 荒天により競技を一時中断もしくは延期することがある。
- (15) 下記の通りスポーツドリンクを主催者から参加者に提供する。
なお、補助競技場でのドリンク及び氷の提供は無いため、各自必要な場合は持参すること。
・トラック種目：フィニッシュ後 ・フィールド種目：招集時に一人2本

16 練習会場の使用について(練習会場注意事項)

- (1) 練習時間、練習種目については別紙練習会場計画を確認すること。
- (2) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は問わない。
- (3) 練習に必要な用具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (4) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (5) 会場への入退場は、必ずADカードを明示する。また、コーチは会場において、常にADカードが確認できるように携帯する。
- (6) 大会1日目以降、雨天練習場を使用できる。(前日練習日に雨天の場合は前日も使用可) 競技役員の指示のもと、安全に十分留意し練習を行うこと。
- ① 跳躍の助走練習・投てきの助走練習は禁止する。
- ② 雨天練習場内は、スターティングブロック・ハードル・ミニハードル等の器具の持ち込み、使用は禁止する。
- ③ スターティングブロック、ハードルの設置については競技日程及び天候等を考慮し競技役員が設置する。
- (7) 補助陸上競技場での練習は次の通りとする。
- ① 補助陸上競技場開場時刻
- ・6月8日(水) 13:00～
 - ・6月9日(木) 9:00～
 - ・6月10日(金) 9:15～
 - ・6月11日(土) 7:50～
 - ・6月12日(日) 8:00～
- ② 6月8日(水) 15:00～17:00に補助競技場100mスタートエリアでスターター競技役員によるスタート練習を行うことができる。
- ③ 競走路の使用は、原則として以下の通りとする。

- ・1～2 レーン:中長距離
 - ・3～7 レーン:短距離 (スタートダッシュはホームストレートスタート地点)
 - ・8～9 レーン:400m ハードル (第1 曲走路からバックストレート、及び第2 曲走路)
 - ・7～9 レーン:100m ハードル・110m ハードル (ホームストレート)
- ④ 跳躍種目・投てき種目は練習会場使用日程通り、それぞれの種目の練習を行うことができる。記載された時間以外は認めない。担当競技役員の指示のもと、安全に十分留意して行うこと。
- ⑤ 投てき種目については練習時間が限られるため、練習一覧表を十分確認すること。また、投てき練習の際、必ず監督・コーチ立ち会いのもと安全に十分留意し行うこと。
- ⑥ 補助陸上競技場インフィールド芝生内への立ち入りを禁止する。(投てき練習を除く)

第106回日本陸上競技選手権大会 シューズの規定について

●競技用靴についてはWAの規定が適用される。靴底の厚さは、800m 未満の種目は20mm、800m 以上の種目は25mm までとする。

種 目	ソールの厚さ	補 足
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm 以内	全ての投てき種目、高さの跳躍および、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm 以内	競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
800m 未満のトラック種目 (含むハードル)	20mm 以内	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。
800m 以上のトラック種目	25mm 以内	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。 競歩種目ではロード種目と同様とする。

補助競技場及び本競技場練習場の練習会場計画

		6月7日(火)	6月8日(水)	6月9日(木)	6月10日(金)	6月11日(土)	6月12日(日)
補助競技場	補助競技場内		13:00~17:00 (※15時~17時に大阪陸協カターによる公式練習可能)	9:00~20:00 ※20:30閉場	9:15~21:00 ※21:30閉場	7:50~18:00 ※19:00閉場	8:00~18:00 ※19:00閉場
	トラック	1~2レーン:中・長距離					
		3~7レーン:短距離(スタートダッシュはホームストレートスタート地点)					
		8~9レーン:400mH(第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路)					
		7~9レーン:100mH, 110mH(ホームストレート) ※競技日程によってレーン数・高さを適宜変更します。					
	走幅跳	練習可能	練習可能	U20女子幅優先 12:00~13:30 シニア女子幅優先 16:00~16:50	練習可能	練習可能	練習可能
	三段跳	練習可能	練習可能	練習可能	U20男子三段優先 12:00~13:30 シニア男子三段優先 16:00~17:25	U20女子三段優先 10:30~12:00 シニア女子三段優先 13:40~15:10	
	走高跳(Aゾーン)	練習可能	練習可能	練習可能	練習可能	練習可能	練習可能
	砲丸投(Bゾーン)				練習可能	練習可能	練習可能
	やり投(Bゾーン)				女子12:30~14:30(優先) 男子14:30~17:00(優先) 上記以外は助走・突刺のみ	U20女子10:00~12:05(優先) シニア女子12:05~14:55(優先) 各競技招集完了時刻まで 上記以外が男子の前日練習	U20男子9:00~11:45(優先) シニア男子11:45~14:20 各競技招集完了時刻まで
円盤投(Bゾーン)	女子13:30~15:00 男子15:00~17:00	ターニング練習のみ 投てき練習は招集後現地					
ハンマー投(Bゾーン)		女子12:30~13:40 男子15:15~16:15 上記以外はターニング練習のみ	ターニング練習のみ 投てき練習は招集後現地				
棒高跳(水濠横)		女子のみ ピット解放13:00~16:00		ピット解放11:00~16:25	ピット解放8:00~		
屋内練習走路 (メイン競技場 バックスタンド下) ※第2コーナーのゲート外側 から中に入れます			※練習可能時間は補助競技場と同じです。器具の持ち込みはできません。 競技役員の指示に従って安全性に十分配慮してください。 屋内走路内に陣地を取ることができません。				
メインスタジアムの選手 陣地用サイドバックエリア の入場可能時間は補助 競技場の会場時刻と同じ です。			9:00~20:00 ※20:30閉場	9:15~21:00 ※21:30閉場	7:50~18:00 ※19:00閉場	8:00~18:00 ※19:00閉場	
	6月7日(火)	6月8日(水)	6月9日(木)	6月10日(金)	6月11日(土)	6月12日(日)	

※ 補助競技場 芝生内は、やり投・円盤投・ハンマー投げ以外の選手、コーチ以外の立ち入りを禁止します。

※ 投てき練習は、監督・コーチ付き添いのもと安全に配慮し行ってください。

※ 当日にある競技を優先とします。

※ 練習に際しては、練習会場係の指示に従ってください。

※ 補助競技場は、雷や豪雨等 悪天候の場合は使用を禁止することがあります。

第106回日本陸上競技選手権大会 主催者が用意する投てき物一覧表

器具	種別	メーカー	品名等	WA認証番号	規格等	数量	合計	
砲	男子(7.260kg)	NISHI	鉄製	I-99-0083	φ129.0mm	1	9	
			鉄製	I-99-0087	φ125.5mm	5		
			鉄製	I-16-0794	φ120.0mm	3		
	丸	U20男子 (6.000kg)	NISHI	鉄製	—	φ120.0mm	2	8
				鉄製	I-03-0292	φ117.0mm	6	
		女子(4.000kg)	NISHI	鉄製	I-99-0084	φ109mm	3	
鉄製	I-99-0089	φ103mm		4				
鉄製	—	φ99mm		2				
円	男子(2.000kg)	NISHI	スーパー	I-16-0779	Black/Red/Wwhite	2	9	
			スーパーハイモメント	I-99-0078	Purple/Black/White	2		
		GILL	ペーサーサターンII	I-99-0038	White	1		
			ペーサーFXカーボン	I-08-0421	Gray	2		
	U20男子 (1.750kg)	NISHI	スーパー	I-03-0293	Black/Red/Wwhite	5	10	
			スーパーハイモメント	I-07-0390	Purple/Black/White	5		
	女子(1.000kg)	NISHI	スーパー	I-99-0086	Black/Red/Wwhite	1	10	
			スーパーハイモメント	I-02-0256	Purple/Black/White	3		
		GILL	ペーサーFXカーボン2	I-08-0422	Gray	2		
		DENFI	ハイバースピン	—	Black	2		
	ウルゲンシュルツ		I-99-0099	White/Yellow centre	2			
	ハンマー	男子(7.260kg)	NISHI	タンクステン入り	I-99-0079	φ110mm	6	8
タンクステン入り				I-19-0943	φ110mm	2		
U20男子 (6.000kg)		NISHI	鉄製	—	φ116mm	2	8	
			タンクステン入り	I-06-0360	φ105mm	6		
女子(4.000kg)		NISHI	ダクタイル	I-99-0080	φ95mm(青色)	6	9	
			タンクステン入り	I-14-0700	φ95mm(橙色)	3		
ヤリ	男子(800g)	NISHI	スーパーリム90m	—	Yellow	1	11	
			スーパー80m	I-01-0236	White	1		
			ロング70m	—	Blue	1		
		NORDIC	エックライク-スチールflex6.1(steel)	I-99-0011	Red/white, red cord	1		
			サントウイック(steel)	—	Yellow	1		
			チャンピオンスチール	I-99-0012	Yellow	1		
			スーパーエリートスチール90m	I-99-0020	White	1		
			オービットスチールflex6.6	I-99-0014	Blue/White	1		
		NEMETH	クラシック95m	I-09-0400	Violet/yellow/orange	1		
			クラシック90m	I-09-0100	Violet/yellow/green, violet cord	1		
	クラシック85m		I-09-0429	Violet/yellow/magenta, violet cord	1			
	女子(600g)	NISHI	スーパー70m	I-01-0235	Yellow	1	10	
			NORDIC	ダイアナ80	I-99-0018	Lilac/White		1
		ダイアナ70		I-99-0017	Orange	1		
		スーパーエリートflex7.0		I-14-0715	White/Black	1		
		ダイアナスチールflex6.2		I-99-0018	Lilac/White Spiral	1		
		NEMETH	クラシックスチール75m	I-99-0110	Violet/Green/Orange	1		
			クラシック75m	—	Green/Red	1		
クラシック80m			I-99-0102	Violet	1			
Gill	オットヘッドウインド	I-14-0692	Gold	1				
	オットテイルウインド	I-14-0693	Violet/White	1				

大阪陸上競技協会技術部作成

- ① リストに無い若しくは1つしか無い規格のものにつき、ひとり2つまで検査に合格すれば(日本陸連検定品に限る)持ち込み器具の使用を認める。
- ② 検査希望者は「投てき器具検査申請書」を該当競技種目の招集完了時刻2時間前までにTICへ提出すること。(時間厳守)合格者には「預かり証(引換券)」を発行する。不合格の場合はTICから競技開始前に連絡する。
- ③ 合格器具は参加競技者の共有使用物として一括借り上げし、競技終了後TICで「預かり証」と引き換えに返却する。

第106回日本選手権・第38回U20日本選手権 スターティングブロック



第106回日本選手権/第38回U20日本選手権(デフ/マスタース含む)
におけるスターティングブロックは、下記ニシ・スポーツ製の製
品を使用します。練習会場にも同製品を用意します。

